

指定管理者中間評価シート

(評価対象期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉アイススケート場 (アクアリンクちば)
条例上の設置目的	スポーツの振興及び市民の健康の増進を図る。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	
ミッション (施設の社会的使命や役割)	
制度導入により見込まれる効果	民間の事業者の有するノウハウを活用する事により、市民サービスの向上につなげる。
指定管理者名	株式会社パティネレジャー
構成団体 (共同事業体の場合)	
指定期間	平成26年4月1日～令和6年3月31日 (10年)
所管課	市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

2 成果指標等の推移

(1) 成果指標 1

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
実績値						
数値目標※						
達成率						

(2) 成果指標 2

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
実績値						
数値目標※						
達成率						

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
利用者数 (人)	231, 829	226, 287	225, 032	226, 892	196, 563	1, 106, 603

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
必須業務	収入	指定管理料	実績	0	0	0	0	0	0
			計画	0	0	0	0	0	0
		利用料金	実績	163,829	154,594	156,066	158,910	140,758	774,157
			計画	155,256	150,957	155,177	160,131	161,528	783,049
		その他	実績	0	0	0	0	0	0
			計画	0	0	0	0	0	0
		合 計	実績	163,829	154,594	156,066	158,910	140,758	774,157
			計画	155,256	150,957	155,177	160,131	161,528	783,049
		支 出	実績	190,632	178,331	169,943	172,466	182,034	893,406
			計画	159,156	162,216	179,162	181,915	185,495	867,944
収 支	実績	△ 26,803	△ 23,737	△ 13,877	△ 13,556	△ 41,276	△ 119,249		
自主事業	収 入	実績	63,040	55,867	52,791	53,143	44,364	269,205	
		計画	57,948	56,063	56,809	54,939	55,681	281,440	
	支 出	実績	32,389	33,419	30,879	30,852	28,145	155,684	
		計画	39,047	34,700	32,824	33,155	31,714	171,440	
	収 支	実績	30,651	22,448	21,912	22,291	16,219	113,521	
総収入			実績	226,869	210,461	208,857	212,053	185,122	1,043,362
総支出			実績	223,021	211,750	200,822	203,318	210,179	1,049,090
総収支			実績	3,848	△ 1,289	8,035	8,735	△ 25,057	△ 5,728
利益の還元額			実績						
利益還元の内容									

4 管理運営状況の中間評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
2 市の施設管理経費縮減への寄与		独立採算制であり、指定管理委託料はない。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
4 施設管理能力		
（１）人的組織体制の充実	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
（２）施設の維持管理業務	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
5 施設の効用の発揮		
（１）幅広い施設利用の確保	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
（２）利用者サービスの充実	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
（３）施設における事業の実施	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
6 その他 （市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮）	C	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。

総合 評価	C
----------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
 D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
 E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 中間評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できている。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できている。
	当初見込んでいた効果は達成できていない。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

施設における維持管理については、スケートリンク等、高い品質を保ち、また事業者からの提案により加湿器や防犯カメラの設置等、利用者の快適な利用環境を整えられるように運営を行った。アンケート結果からも利用者の満足度が高いことがわかる。
しかしながら、収支については必須事業が5年とも赤字であり、自主事業は5年とも黒字にもかかわらず、総収支については5年間の総括では赤字に転じた。
総じて、概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていたと判断した。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

平成26年のソチオリンピック以降、アイススケート人気が後退した。千葉アイススケート場についても利用者数が減少傾向を示しており、今後、利用料金収入の減少に伴う損益赤字による撤退のリスクや、選定時に応募事業者がいないという状況が懸念される。

(3) 今後の管理運営の改善方針

現状の良好な維持管理の質を高めながらも、公営のアイススケート場のメリットである低価格を活かし、市の広報誌等でのPRなど集客方法を模索していく。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア 市の作成した中間評価案の妥当性について
市の作成した中間評価案の内容は、妥当であると判断される。
イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について
(ア) アンケート結果において利用料金に対する不満の割合が高く、公のアイススケート場として低廉な料金設定となっていることが理解されていないため、周知の在り方を検討されたい。
(イ) 苦情や意見に対する施策については、その実施結果による効果を検証されたい。
(ウ) スケート人気の後退により利用者の減少がみられることから、スケート事業でのノウハウを生かした自主事業による集客を図られたい。